

Title: 「思い出だけ捨てればいいじゃない。」



思い出だけ捨てればいいじゃない。 > 2006年06月 アーカイブ

06.06.30

どらごん危機一髪

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

過ごしやすと思っていたカトマンズで、予想に反して、喉や鼻をやられた私。
げまげま

しかし、精神は肉体を超えるということをハルクホーガンから学んだ私は、
このダストだか花粉だかのアレルギーに負けないようにがんばるのだ！
ネパールは空がきれいです。



なんだか今日は、ほほえましい写真が撮れました。



● 最近のエントリー

- 📅 [どらごん危機一髪](#)
(2006.06.30)
- 📅 [写真を撮ろう](#)
(2006.06.28)
- 📅 [こんにちはネパリー](#)
(2006.06.25)
- 📅 [インドはいい国? わるい国?](#)
(2006.06.23)

● アーカイブ

- 📅 [2011年12月](#)
- 📅 [2011年02月](#)
- 📅 [2010年02月](#)
- 📅 [2010年01月](#)
- 📅 [2009年09月](#)
- 📅 [2009年07月](#)
- 📅 [2009年05月](#)
- 📅 [2009年04月](#)
- 📅 [2008年11月](#)
- 📅 [2008年10月](#)
- 📅 [2008年09月](#)
- 📅 [2008年05月](#)
- 📅 [2008年01月](#)
- 📅 [2007年12月](#)
- 📅 [2007年11月](#)
- 📅 [2007年10月](#)
- 📅 [2007年09月](#)
- 📅 [2007年08月](#)
- 📅 [2007年07月](#)
- 📅 [2007年06月](#)
- 📅 [2007年04月](#)
- 📅 [2007年03月](#)
- 📅 [2007年01月](#)
- 📅 [2006年12月](#)
- 📅 [2006年11月](#)
- 📅 [2006年10月](#)
- 📅 [2006年09月](#)
- 📅 [2006年08月](#)
- 📅 [2006年07月](#)
- 📅 [2006年06月](#)
- 📅 [2006年05月](#)
- 📅 [2006年04月](#)
- 📅 [2006年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク



もう6月も終わり。
フィールドワークも本格的に後半ですね。

カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.06.30 | [パーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。](#) > 2006年06月 アーカイブ

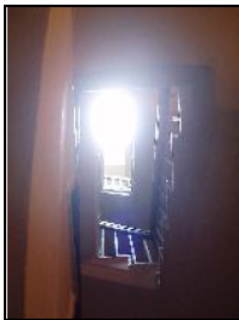
06.06.28

写真を撮ろう

[Tweet](#)

[いいね!](#) 0

[チェック](#)



写真を撮るといふことを、どうにも自分から切り離せないもので、まいったまいった。
別々に考えられたら楽チンなのにね。

でも、人からどう思われるか気にしてしまうのも、
誰かに何か言われてへこむのも、
ごはん食べ過ぎるのも、
ひとりであるのが寂しいと感じてしまうのも、
人と関わる度に迷うのも、
好きな人のことを考えてしまうのも、
くだらないことで悩むのも、
つい歌ってしまうのも、
誰かに会いたいと思ってしまうのも、
理解できるようになりたいと思うのも、
写真を撮ろうとするのも、
全部が私の一部なわけで、
全部が繋がっているわけで、
そうです、コントロールが必要なんです。

ああ。
たくさんの人の言葉が思い出されます。

がんばります。
P.S 母へ。
雨季であんまり天気がよくないし、晴れる日は暑くて長時間外にいられないから、そんなに
日焼けしないのです。

カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.06.28 | [パーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。](#) > 2006年06月 アーカイブ

06.06.25

こんにちはネパリー

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

クラクションと、人の怒鳴り声と、部屋のファンの音がうるさかったインドから、ちょっと静かでこぢんまりした街、カトマンドゥへやってきた。

早いものでもう7カ国目。

今日は私にとって記念すべき、宿泊先30ヵ所目を予約しに行きました。石垣島のヤンブジーナに始まり、、、色んなところがあったなあ。

徳田くんも書いていたけど、やっぱり慣れてくると、最初のように国境を越える度に感動したりしなくなるものなんですね。

建物や街並みの変化にも、さほど感動はなくなり、やっぱり心をつらえるものって、「物」じゃなくて人なんだなあと思う今日この頃。今まで行った国のことも、家族や友達がいる日本のことも、思い出すのは人のことばかり。

私は人が好きみたいです。

人と付き合うことはすごく難しいし、面倒なこともあるけど、関わることをやめない私は、やっぱり人が好きなのでしょう。

同室の奈々子嬢が言いました。

「人間は一人一人が宇宙を持っている」のだと。

何かの引用らしいけど、私はなんて尤もな言葉だろうと思いました。

私は、旅先で出会う人、身近な人、色んな人の宇宙を覗いてみたいのだと思います。

カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.06.25 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。](#) > 2006年06月 アーカイブ

06.06.23

インドはいい国?わるい国?

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)



インドは日本人にとっては、どこもかしこも汚すぎるし、お金持ちで警戒心の弱い日本人は狙われやすいから危ないし、大変な所だと思う。

でも、観光客狙いの犯罪って、目当てはお金なわけで、こちらが最低限の注意をして、常識をもって行動すれば問題は無いんだと思う。考えようによっては、日本の犯罪のほうがよっぽど怖いと思いませんか？

「人を殺してみたかったから」

とか

「ムシャクシャしてたから」

とか。
猟奇的。防ぎようがないし。

ところで、インド人はみんな騙してくるとか、嘘を教えてくるとか、よく聞くけど、それもこちらの受け取り方次第なんだな、きっと。
インド人にはおそらく「察する」という概念がないので、嫌なら嫌とはっきり言う。
日本人とは感覚がまるで違うから大変な部分もあるけど、「郷に入っては郷に従え」と言いますものね。
明日香さんとリクシャーに乗りながら
「日本に帰ったらどう感じるだろうね」
と話をした。
明日香さんは
「きっと知らない人と話せなくて寂しいんじゃないかな」
と言った。

私もそんな気がする。

インドには騙してくる人も多いのだろうけど、それ以上に、フレンドリーで親切で優しい人がいっぱいいる。
楽しいと感じるか、しんどいと感じるか、全ては自分次第。
まさに「As you like」な国でした。

カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.06.23 | [パーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。](#) > 2006年06月 アーカイブ

06.06.18

写真

[Tweet](#)

[いいね!](#) 0

[チェック](#)



ナマステ☺

とりあえずコルカタにやって来たので奈々ちゃんの真似をしてみたのですが、そう、写真について。

私はぎっと今、写真で何なのか、どんな力を持っているのか知りたくて写真撮っているんだと思う。
こうしたら、ぎっと少しはわかるようになるんじゃないかな、という方法で撮影しているつもりだ。

だけど、今日写真を撮ろうと思って、カメラを持ってぶらっと外へ出てみたら、絶対にするまいと思っていたことをすっかりやってしまった。
何気なく子供の写真を撮った。
撮ってしまった。

「写真は暴力だ」という言葉があります。
それをどう思うかは人それぞれだと思いますが、私はそういう、写真の持っている暴力的な部分を少しでも少しでも排除して、写真を撮りたいと思っています。
そんなことが可能なのか、
所詮、そんなものは自己満足に過ぎないのか、
今はわからないけど、
がんばろうと思います。
あ、言い忘れたけど今コルカタです。
あちいです。

あ、もいっこ言い忘れたけど、インドには20くらい言葉があるらしいのですが、コルカタの地域(ベンガル系かな)の言葉で、すごく暑いというのを「オニゴロン」と言うらしいです。
オニゴロン。

オニゴロン。。

日本でも使えそう。
「今日まじオニゴロンだよー」

みたいな。

では。
ナマステ◎

カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.06.18 | [パーマリンク](#) | [コメント\(3\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。](#) > 2006年06月 アーカイブ

06.06.13

ビューティフルデイズ

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

プリーでの私の日常。
毎朝10時にビーチへ。



熱くておいしいチャイを飲む。



漁師たちが海から戻ってきたら、その場で売ってもらおう。(というか、みんな友達だからくれる。)



そんで友達のおうちに持って行って料理してもらおう





そして一緒に食べる！うまい！！
インドでは、妻は夫を敬っているから、夫が食べ終わってから食べるんだって。
私はなぜか旦那様たちと食べる。客だからかしら。



食べ終わったら昼は暑いからみんなでお昼寝。友達夫婦と近所のこどもと一緒に☆



たまに観光。ここはプリーからちょっと離れたコナーラクというところにある、スーリヤ寺院。

友達がバイクで連れてってくれた！
しかも、ノーヘル、3ケツ！日本だったら即捕まってるネ。



こうやって写真撮るのが、インディアンビーボーの間で流行ってるみたいだから、真似してみました！

そしてビーチに座っていると、こいつがやって来て寝ちゃう。





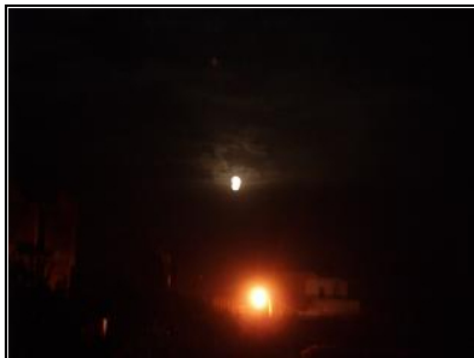
いつもそばにいて、かわいい奴です♪
たまにラクダに乗ってみたいね。
あーぎもちいー



そして夜は、ごはんをご馳走してもらったお礼に、彼らにビールをプレゼント。
さすが、漁師はよく食べるし、よく飲みます！



長い長い一日が、月を眺めながら終わっていきます。



私は毎日、朝から晩までビーチにいるから、ビーチではみんな友達。
チャイ屋さんも、マッサージ屋さんも、漁師さんも、おみやげ屋さんも、バナナ屋さんも、犬も。
朝ビーチに行くと「カナコー！」とみんなが呼んでくれる。

私のブリーのベストフレンドは、家がとても狭くて、家が狭くて、家族が全員寝られないから、いつも外で寝ている。
でも雨が降ったら、寝ることができない。
私と同じ年なのに、家族の問題をいつも背負っている。
でも彼は優しく、フレンドリーで、いつも明るい。
そして、素晴らしい毎日を私にプレゼントしてくれる。
私はそんな彼をととても尊敬している。
ここにいと、今までの自分の、物事に対する考え方が覆される。
何が本当に大事なことをかを教えられる。

素晴らしい毎日。

だけど、ここに来て2回だけでも悲しいことがあった。
私は毎日彼らと過ごし、同じものを同じように食べていたけど、やっぱり全て同じにはできない。
私は普段からあまり水を飲まないから、みんなが「もっと水をたくさん飲まないと体によくない」と言ってローカルウォーターを勧めたけど、きっと私はそれを飲んだらお腹をこわす。
それを伝えるときに、すごく胸が痛んだ。
「あなたと同じものを飲んだらお腹をこわす」なんて。
あああ。

二度と言いたくない。
ごめんね。
でもみんないい人たちだから、わかってくれた。
そしてもうひとつは、肌の色。
彼らは日本人と違って、仲良くなるとよくお互いに触れるようになる。
でも私は慣れていないから触ろうとしなかった。
そのとき彼は、
「なぜ触れてくれないの？自分はブラックスキンだから？」
と言った。
すごく悲しかった。
私は肌の色なんて気にしたことないのに。
そんなことないよ、日本ではそういう習慣がないからなんだよって、わかってもらうのが難しかった。

人種、文化が違うってすごく難しい。
色んなすれ違いが起こる。
でも私は彼らを尊敬しているし、信頼してる。
彼らも私を受け入れてくれる。
今はそれで満足。
何もいらない。

カテゴリ:


post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.06.13 | [パーマリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。](#) > 2006年06月 アーカイブ

06.06.07

プリーはとってもいいところ

[Tweet](#)

 いいね! 0

 チェック

昨日の午後、人々が集うと言われているビーチに行ったんです。
ホテル (GANDHARA) から3分くらい。近いっしょ!



ほんとにたくさんの方がいた。
そして、この町にはよく日本人が来るみたいで (今はオフシーズンだから全然いないけど)、
コンニチハーってよく声をかけられる。
物売ってたりするわけじゃないから、単にみんな人懐こいんです。
そこで仲良くなった、私と同じ年のラナ。



この浜にいるみんなが友達みたい。
たくさん友達がいるんだねって言ったら、
心を開いているからいっぱい友達ができるって言った。
素敵。

そして浜をぶらぶらするとラナの友達がクリケットをしていた。





クリケットはインドではベリーポピュラーなんだって。
カンボジアでも思ったけど、大人も、こどもみたいに遊んでほしいでるなあ。
そういうとこ日本と違う。



↑周りにいたお調子者たち（みんなラナの友達でとってもフレンドリー！）
そして私は成り行きでマッサージを受けることに。



この後、服はまくられるは、お腹やら背中やらにオイルを塗りたくられ、終いには髪と顔もオイル&砂まみれになり、ああもう好きにしてくれ。。

その後ラナに紹介してもらった、バナナ売りの女性は「カナカ」という名前で、私が「カナコです」と名乗ると大騒ぎ！！名前がそっくりって。
抱きしめられ、一瞬にして友達に。



ラナもにぎやかな人だけど、そんなラナでも「カナカはしゃべり過ぎるから、頭が痛くなる」とめんどくさがるほど、カナカはしゃべりまくる人でした。
しゃべり過ぎるとめんどくさがられるのは、どこの国でも一緒なのね。



日が暮れても、人々はただ海を眺め続けるのです。

さっ、楽しい一日も終わり。
ラナは私がうまく英語がしゃべれなくて、通じないこともいっぱいあるのに、めんどくさがらずにずっと付き合ってくれたのです。
ああ、いい奴。
彼は漁師さんで、私が写真を勉強していると言うと、
「明日はフィッシャーマンビレッジに連れてってあげるよ。きっとたくさん写真が撮れるよ」と言ってくれました。
そして次の日、彼らの村へ。
といっても、浜にありました。近い！
こんなところ。



バンブーハウスなんですよ。
ラナは終始、「Difficult to live」みたいなことを言っていた。
電気もないし、雨漏りはするし。
でも子供たちは元気！



カメラを見るなり、撮って撮ってと集まってきちゃうのです。
わお！！
そしてまた浜に戻る。
インドの女性はサリーのまま海で遊ぶんです。
ちょっと日本人の感覚ではびっくりしてしまうところ。



私のためにカニを捕ってくれようとするラナとボッカ。



捕れた！
そしてポッカが撮ってくれたワタシ。



私はここへ来て、みんながとても親切で優しいことに、とても喜んでると同時に、戸惑っている。
インドは特に、簡単に人を信じると騙されたりするって言うし、でも彼らを疑いたくない。むずかしい。
ラナの「信じあうことはとても大切」という言葉を聞いて、ごめんねって思う。
信じ切れなくてごめん。
でもやっぱり時間のかかることだよな。
日本だって一緒だ。
とにかく、プリーはいいところ。
大切な人を連れてきたくなるところ。

カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.06.07 | [パーマリンク](#) | [コメント \(3\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。](#) > 2006年06月 アーカイブ

06.06.06

インド Bhubaneswar Puri ひとり旅

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

ついにインドまでやって来ました。気温40℃以上と聞いていたから恐れていたけど、天気が悪いせいかそこまで暑くない。よかった！
チェンナイから何だか成り行きでひとり旅が始まってしまいました。
目指すは、東インド。ベンガル湾に面した、BhubaneswarとPuriです。



チェンナイのホテルから空港まで乗っけてもらったリクシャーのおっちゃん。初めて一人で乗ったからぼたくられるんじゃないかとドキドキだったけど無事着いた。ほっ。

Bhubaneswar (BBSR) は地球の歩き方には「のんびりしたところ」と書いてあったのになぁ。
リクシャーの人はしつこいし、車やバイクはクラクション鳴らし続けながら走りまくってるし、大雨なのに道は舗装されてなくてぐちゃぐちゃだし、ああ、大変だ。
BBSRは寺院で有名どころだから、リクシャーのドライバーがしつこくしつこく寺院巡りに連れてってやると言うから、高かったんだけど、ことわるのも面倒になってきて仕方ないから行くことに。
雨。地面はとっても汚い。
だってすぐそこには牛さんが、もう土だか何だかわかんないよ。
不運にも、たくさんある寺院のいくつかは靴を脱がなきゃ入れなくて、しょうがないから脱いだ。

靴下は脱がなくていいよ、と言われ、靴下どろどろ、ズボンの裾もどろどろ。
でもお坊さんらしきおじさんが熱心に案内してくれるもんだから、頑張って耐えました。
しかし、
破傷風は怖いので、ドライバーに「疲れた」と言って昼前に切り上げ、ホテルに戻り速攻で脚を洗う!!!
大変だったけど、お寺でお坊さんが「God Bless You!」と言って渡してくれたお花。
これ見て元気出そう。



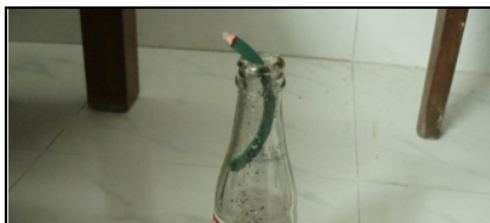
次の日は駅へ行ってコルカタ行きのチケットを買おうと思ったんです。
でも、でも。
まったくどこへ行けばいいやら、何をすればいいやらわからない。
とりあえずツーリストオフィスに行ってみると、親切なおちゃんが助けてくれた。
結局乗りたい電車を4本くらい調べたけど空席はなく買えなかった。
が、おちゃんのオフィスとブッキングオフィスを6往復くらいして、列に並んではカウンターの人の言ってることまったくわからず追い返され、人ごみでもみくちゃんになり、列車で行くことを諦めたときにはすでに、駅に来てから5時間は経過していた。
その間、辛抱強く力になってくれたPravatさん、ありがとう。



インド人は騙したりぼったくったりすることで有名だから、最初は嫌いになっちゃうんじゃないかと思うけど、彼のおかげで頑張れそう！
そしてホテル（って呼べるのかな、ここ）に戻っておいしいエビカレーを平らげる。
これでジュース込みで200円くらい？ やっすーい☆



ホテルの用務員さんみたいなおちゃんが夜、部屋を訪ねてきて、恐る恐るドアを開けると、
じゃじゃーん！！
蚊取り線香！！
ありがたくうけとりました。
が、これだけ渡されても、、、、
火事になっちゃうよう。オロオロ。





まあ、こんなかんじでいっか！

そしてブリーへと旅立つ朝、レストラン（て呼べるのかな、ここ）でコーンフレークをオーダー。
コップに注がれたミルクをコーンフレークにかけるべく、持ってみると、超ホットミルク！！
あつっ！！！！
えっ？！
どうやって食べるの？
恥を捨て聞いてみると、砂糖を入れ（まくり）、ミルクをかけて、かきまぜてくれた。
あまっ！！
あつっ！！



しんどかった。。

そんなこんなで、朝ローカルバスに町の人と一緒に乗り込みました。
生まれて初めて、走り出しているバスにつかまって乗りました（しかもバックバック垂くて落ちるかと思った）
男の人が腕引っ張って乗せてくれた上に、席を空けて座らせてくれた。
やさしーーーーー！！
ローカルバスは混んでるし騒がしいけど、地元の人笑顔が溢れていました。
風も気持ちいいし。

ブリーに到着すると、バスで親切にしてくれた男の人がリクシャーがいるところまで連れてきてくれたんだけど、、、あれあれ？？
なぜあんたまで一緒に乗ってくるの！！！！
家やご飯やらに誘われたけれどもお断りし、目的のホテル前でお別れ。
元気でね！
そうして着いたホテルはとっても安く快適そう。
よかった。



ちなみに、BBSRで泊まっていたホテルはあの辺じゃデラックスらしいけど、トイレはちゃんと流れないし、ホットシャワーと言いながらも水しか出ませんでした。
学校指定泊のホテルもわりと高めだったけど、トイレとお風呂はそんなかんじ。
これがインドなのですね！！

カテゴリ：

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.06.06 | [パーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)